恵那市の情報を分かりやすくお伝えします！

NO. 229

ENA CITY PUBLIC RELATIONS

広報えな

10/1
2014/平成26年

特集 『祝市制10周年』
『中学生、市長と語る会』

お知らせ・声 …… 10～14
掲示板 …… 15
トピックス、1歳写真 … 16～18
恵那人 …… 19
先人の宝、恵那写真館 … 20

今月のベストショット

園児らが敬老を祝う

9月13日、山岡町敬老会が山岡農村環境改善センターで開催され、高齢者約100人が参加しました。アトラクションでは、山岡保育園の園児48人が高齢者1人1人の後ろに立ち、音楽に合わせて肩たたき。高齢者らは気持ちよさそうに目を細めていました。この他、山岡小学校の4年生も駆け付け、歌などで敬老を祝いました。

恵那市ウェブサイト
http://www.city.ena.lg.jp/

祝
市制10周年

新市の繁栄を目指し基盤づくりを着実に推進

▲平成16年10月25日に市役所前で行われた開庁式

本市は10月、市町村合併をしてから10周年を迎えました。市ではこれまで、総合計画や行財政改革大綱を定め、新市の繁栄を目指して基盤づくりを着実に推進。歴史や文化が違うまちが一つになって同じ目標に向かい、行政と市民が一体となるまちづくりを進めてきました。

今回は、10年間の取り組みや出来事などを振り返ります。

個性生かし調和を図る

平成16年10月25日、旧恵那市と岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が合併し、新生「恵那市」が誕生しました。当時、合併に当たり4割程度の項目が未調整として新市に引き継がれました。新市では、市民の皆さんと協議をしながら、未調整項目の解消に努めました。

市では、合併直後から全国でも先駆けとなる地域自治区制度を導入。地域協議会が中心となり、各地域のまちづくりが進められてきました。

平成18年3月には、市総合計画や市行財政改革大綱を策定。各地域の個性を大切にしながら全体の調和を図るとともに、足腰の強い行財政基盤の強化に努めました。

施設の整備では、火葬場「えな斎苑」、市中央図書館、市消防防災センターなどが新しく建設されました。市を取り巻く状況としては、リニア中央新幹線の中間駅が隣の中津川市に決まったことや、岩村城跡が「日本100名城」に認定されたことなどがありました。

10月11日(土)に記念式典

市では、10周年を記念し、10月11日(土)に恵那文化センターで記念式典を開催します。入場は会場の都合で招待者のみとさせていただきます。

市政のピックアップ

新市ではさまざまな施策が行われてきました。ここでは、市政の中で行われてきたことの一部を紹介します。

総合計画　6の基本目標を定める

平成18年3月に「人・地域・自然が調和した交流都市」を将来像とした、市総合計画を策定。平成27年度までの10年間の基本構想を示しました。基本計画では、市町村合併に伴う基本的な枠組みの変化に対応する新たな市の基礎を築くよう定めました。

▲施策を盛り込んだ市総合計画の計画書

基本目標の柱は6本。「健やかで若さあふれる元気なまち」「豊かな自然と調和した安全なまち」「快適に暮らせる便利で美しいまち」「活力と創造性あふれる魅力あるまち」「思いやりと文化を育む人づくりのまち」「健全で心の通った協働のまち」です。

計画に基づき、これまでには「中学校卒業までの子どもの医療費助成」「水道未普及地域の解消」「全市域にケーブルテレビネットワークを構築」「第3期テクノパーク（工業団地）への誘致」「学校をはじめとする公共施設の耐震化」「まちづくり基金による市民のまちづくりの支援」など、まちづくりの基盤となるさまざまな施策を行ってきました。

生涯学習都市　三学のまち恵那を宣言

▲記念碑の除幕式

生涯学習都市「三学のまち恵那」宣言は、「社会に役立つ有為な人になろうとの高い志を抱いて、学び続ければ、その精神は朽ちることがない。より良い自分を目指して生涯学び続ける人は、いつまでも人の心に残る人になる」と説く、郷土の先人佐藤一斎の三学の精神を理念として、平成23年4月1日に制定されました。

生涯学習のまちづくりを進める「三学のまち恵那」を実現するため、「読書のすすめ」、「求めて学ぶ」、「学んで生かす」、の三つの柱からなる市民三学運動に取り組んでいます。

地域自治区　地域づくりの体制整備

平成17年1月、市町村合併前の旧市町村の区域に6の地域自治区を設置し、平成19年4月には、旧恵那市の町単位に8の地域自治区を設置。全域に13の地域自治区が出来ました。

各地域自治区では、地域協議会が設けられ、地域のまちづくりに関する意見や、住民と行政の連携などに関する意見などを取りまとめています。

▲地域協議会が地域懇談会を開催

行財政改革　費用を抑え効率高める

▲行財政改革の大綱と行動計画

平成18年3月に「市行財政改革大綱」と「市行財政改革行動計画」を策定しました。

行財政改革では、財政的な削減としては、職員定数の適正化、市債の繰り上げ償還、市税などの収納率の向上、地域集会施設の地元移譲などで効果を挙げました。

この他、市民の視点に立った行政サービスの質の向上や情報共有による市民参画の促進、変革の時代に対応できる人材育成と組織改革、市民との協働によるまちづくりシステムの確立にも取り組みました。

観光交流人口　目標の400万人を達成

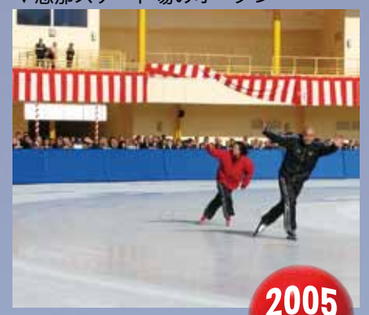
平成24年、市の年間観光交流人口の数が目標の400万人を達成しました。市では、平成16年に年間293万人だった観光交流人口を、平成27年までに400万人にする目標を掲げていました。目標達成には、各方面との連携や観光客の誘致、地域での取り組みなどが功を奏しました。

▲市内の各地域でにぎわいを創出

10年間の歩み

この10年間にあった主な事業や出来事を振り返ります。

▶市役所開庁式でのテープカット


▼恵那スケート場のオープン

▶地域ブランドに認定された山岡細寒天

2004 平成16年

■10月25日　旧恵那市、岩村町、山岡町、明智町、串原村、上矢作町の1市4町1村が合併し、新生「恵那市」が誕生
■11月28日　市長・市議会議員選挙。初代市長に可知義明が就任
■12月4日　第1回市議会開催
■12月25日　市体育連盟と旧恵南町村の各体育協会が統合
■1月25日　地域自治区の条例を制定
■2月11日　下田歌子生誕150年記念行事の開催
■3月25日　明智町、東野、武並町に水道施設完成
■5月17日　市自治連合会が発足
■7月8日　阿木川ダム湖でダム湖百選認定プレート除幕式
■10月12日　新火葬場「えな斎苑」完成
■10月15日　市の花にササユリ、市の木にハナノキを制定
■12月3日　県クリスタルパーク恵那スケート場がオープン
■3月27日　中野方ダム完成式
■4月1日　市総合計画、行財政改革大綱スタート。㈶市文化振興会が発足
■4月6日　岩村城跡が「日本100名城」に認定。日本3大山城サミットを開催

2005 平成17年

■10月1日　市民課住民係の窓口サービスが午後6時まで延長
■12月8日　「山岡細寒天」が地域ブランドに認定
■12月20日　水道料金と下水道使用料の統一
■2月1日　市こども発達センター「おひさま」開所
■3月2日　岩村町の町並みが美しい日本の歴史的風土100選に選定
■2月23日　企業立地等促進条例でユニオン機工が調印第1号
■4月6日　ケーブルテレビ「えなっコ」チャンネルが開局
■4月8日　統廃合により恵那南高等学校開校
■7月7日　市中央図書館（伊藤文庫）オープン
■7月19日　県内で初の風力発電施設が上矢作町に誕生
■8月22日　恵那テクノパーク第3期拡張が決定
■10月25日　市女性消防隊が全国女性消防操法大会で優勝
■1月18日　こども元気プラザがオープン
■3月20日　名誉市民伊藤喜美氏推挙式
■6月22日　中山道広重美術館と東海道広重美術館が姉妹館提携

2006 平成18年

▶地域ブランドに認定された山岡細寒天

2007 平成19年

▶ケーブルテレビの開局記念式典

▲明治、大正、昭和の3村長が集合

2008 平成20年

▲市中央図書館の開館記念式典

2009 平成21年

▼市制5周年の式典を開催

■11月3日　日本三村サミットを大正村で開催
■12月3日　明知鉄道「東野駅」で高齢者複合施設と駅舎の共用
■12月25日　明知鉄道「極楽駅」開業
■3月2日　「市消防防災センター」運用開始
■4月1日　岩村診療所に「市透析センター」開設
■9月5日　くしはら温泉「ささゆりの湯」入館者が100万人を達成
■10月23・24日　嚶鳴（おうめい）フォーラム市長サミット開催
■11月8日　市制5周年記念式典を開催

2010 平成22年

▶恵那駅隣に「えなてらす」がオープン

■2月1日　光IP電話開通
■3月20～22日　明知鉄道でDMV※が線路と道路で実証実験
■4月22日　市一般廃棄物最終処分場が笠置町に完成
■6月27日　国重要文化財の武並神社本殿を再建
■7月26日　恵那テクノパーク第3期拡張工事が完成
■9月17日　恵那駅隣に「えなてらす」がオープン
■11月27日　実践女子学園と市が連携協定締結

2011 平成23年

▶局地的豪雨で中野方町に避難勧告

■4月1日　三学のまち恵那を宣言。市総合計画後期計画・第2次行財政改革大綱スタート
■4月29日　映画「ふるさとがえり」が上映
■6月7日　JR東海がリニア中央新幹線の県内中間駅を中津川と発表
■7月31日　大正百年記念式典を開催
■9月20日　局地的豪雨で中野方町に初めて避難勧告
■1月28日　ぎふ清流国体スケート競技開催

2012 平成24年

■4月20日　「ふれあいエコプラザ」が完成
■9月15日　次米（すきまい）みのり祭で五つの祭りを開催
■10月6日　ぎふ清流国体弓道競技開催
■2月9日　大井宿が岐阜の宝物に、明知鉄道と笠置山クライミングエリアが明日の宝物に認定
■3月23日　岩村城下町で日本一長いテープカット

2013 平成25年

▲岩村本通りの整備の完成を祝い日本一長いテープカット

■9月　市の観光交流人口が目標の400万人を達成
■9月20日　JR東海がリニアの環境影響評価準備書で市内の路線を公表
■11月18日　国道19号恵那―中津川間の4車線化が完成
■3月27日　観光ポスターが最高の国土交通大臣賞を受賞
■3月31日　吉田小学校が閉校し明智小学校と統合

2014 平成26年

▲明智町の吉田小学校が閉校

■10月11日　市制10周年記念式典を開催（予定）

▶まきがね公園で国体の弓道競技を開催

※DMV＝デュアル・モード・ビークル。線路と道路の両方を走ることができる車両

▲明るい市の未来をつくるため、まちづくりについて提案した中学生の皆さん

10年後の恵那市のあるべき姿

中学生が積極的に提案

8月29日に市消防防災センターで、「中学生、市長と語る会」が開催されました。これは「まちづくりに若い中学生の意見を生かしたい」と平成17年度に可知市長の提案で始まり、ことしで10回目。市内8中学校の代表生徒16人と、市長、教育長の18人が討論会方式で意見を交換。今回は「10年後の恵那市のあるべき姿」をテーマに、二つのサブテーマ「快適なまち」「元気なまち」で提案しました。

市では、中学生の皆さんが出した意見を市の施策の参考として、まちづくりに生かしていきます。ここでは、内容の一部をお知らせします。（敬称略）

問い合わせ 総合政策課☎26―2111（内線313）

サブテーマ1

快適なまちとはどんなまち

互いに交流し助け合う

■市長 皆さんこんにちは。10年後に25歳になっている皆さんに、思う存分意見を言ってもらいたいと思います。それでは最初のテーマについて話しましょう。快適なまちとはどんなまちだと思いますか。

●伊藤慎介（いとうしんすけ） 快適なまちとは、災害などが起きたときにみんなで助け合えるまちだと思います。普段から近所同士などで仲良くしていれば、安心して暮らせると思います。

▲明智中学校 伊藤慎介君

■市長 互いに思いやりを持つことや、普段からの交流が大切ということですね。

●平井萌々夏（ひらいももか） 人との触れ合いを大切にする、治安のいいまちが快適だと思います。快適ではないまちとは、暴力や事件、ごみのポイ捨てなどの迷惑行為があるまちです。周りに迷惑を掛けない社会的な感覚を持つ人を育てることが、治安のいいまちづくりにつながると思います。

▲恵那西中学校 平井萌々夏さん

■市長 犯罪や迷惑行為がなければ、安心して暮らせるまちができますね。

交通や商業面で発達

●奥山翔乃祐（おくやましょうのすけ） 電車に乗り遅れると、次の電車が来るまで1時間以上かかることがあるので、本数を増やすなどして交通網を発達させたいです。

▲恵那東中学校 奥山翔乃祐君

●西尾知夏（にしおちなつ） 中心部は発達してきたけど、私の住む山岡町などはまだまだだと思うので、交通網を豊かにして、離れた場所に住む人も中心部に移動しやすくなれば快適に生活できると思います。

安心して暮らせるまち

●大石真穂（おおいしまほ） 地域の人が安心して暮らせて、一人暮らしのお年寄りなども近所で助け合っていけるまちにしていかなくてはと思います。

▲上矢作中学校 大石真穂さん

■市長 高齢者が自分で車を運転することが難しくなったときに、移動や買い物などを支援する仕組みは必要ですね。市では、移動販売車が各地を回る買い物支援を行っていますが、もっと広げていきたいと思っています。

●野々村真白（ののむらましろ） 高齢者だけでなく、障がい者も暮らしやすい環境をつくりたいです。まち全体がバリアフリーで負担なく移動できたり、障がい者の働く場所が整っていたりするといいと思います。

▲岩邑中学校 野々村真白さん

■市長 目の不自由な方のための点字ブロックを設置したり、耳の不自由な方には目で見える広報の放送方法を考えたりと、障がい者の方が暮らしやすい環境を考えていく必要があります。災害が起こって避難するときに、自力で動けない方を地域のみんなで手助けすることも大切ですね。

●伊藤佑華（いとうゆうか） どんな世代の人でも安心して暮らせるまちが大切だと思います。老人ホームに入れない人がたくさんいるので、そういう施設が増えるといいし、これから子どもを生んで育てたいと思う人のために、産婦人科や小児科、保育園や学童保育などが充実してほしいです。

▲上矢作中学校 伊藤佑華さん

■市長 高齢者施設をどうするか、これは国を挙げての大きな課題です。建設中の恵那病院では産婦人科の設置を進めています。少子化や子育ての問題も、考えていくべき大きな課題です。

住みたいと思えるまち

●樋田大知（といだだいち） ずっとここに住みたいと思えるのが快適なまちです。そのために、それぞれの地域のいいところをまとめた広告を作り目に付く場所に置くのもいいと思います。

▲恵那北中学校 樋田大知君

■市長 各地域のいいところをどんどん宣伝して恵那の魅力を伝えるということですね。

●成瀬大生（なるせだいき） 飯沼駅が日本一の急勾配の駅だということや、岩村駅の田園風景が美しいことなど、僕のように市民でも知らないことが実は多いです。それをもっと広めて、恵那の魅力をもっとみんなに知ってもらえば、ずっと住みたくなるかなと思います。

▲山岡中学校 成瀬大生君

■市長 恵那のいいところを100個集めた「えな100選」という冊子があります。これを読んで、皆さんに恵那のことを勉強してもらい、市民全員が恵那のいいところを外へ発信していければ、5万3000人分の宣伝ができます。そこから、恵那へ来てみたいなとか、ずっと住んでみたいなと思えるような快適なまちになっていけばいいですね。

※この記事の詳細は、市ウェブサイト（http://www.city.ena.lg.jp/）「中学生、市長と語る会」のページで公開しています

サブテーマ2

元気なまちであるために必要なこと

■**市長**　今度は、「元気なまちであるために必要なこと」について、皆さんの意見を聞きたいと思います。

市内で交流を深める

●**大島蘭奈**　元気なまちであるためには、にぎやかであることが必要です。まちの宣伝をして人を呼び込めばにぎやかになるし、みんなで協力して宣伝すると市民同士の絆も深まるので、にぎやかになるんじゃないでしょうか。

●**大橋竜也**　知名度を上げれば、恵那に来たり住んだりする人が増えて活気が出ると思います。

▲恵那東中学校
大橋竜也君

■**市長**　にぎやかなことをすると、人が集まってきて元気になるということですね。

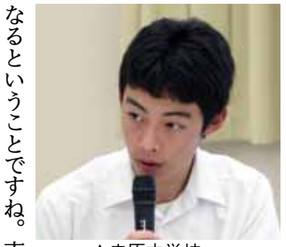
●**舘林佑花**　スーパーを造って地元の野菜などを売ることで、元気なまちになると思います。人に来てもらうには、空き家などを若い人に貸すなどして呼び込む方法もあります。

▲恵那北中学校
舘林佑花さん

■**市長**　地元の特産品などを販売することで元気なまちにできるということですね。

●**成瀬海斗**　僕は小学生の頃はあまり人と話さなかったのですが、中学生になって人と話すようになってきて活発になり、イベントにも参加するようになりました。やはり、地域などで人との交流を深めると、他の地域へ足を運ぶようになって、人同士の交流や物のやり取りが活発になるのかなと感じました。

■**市長**　外からではなく市内の交流を盛んにすれば元気になるということですね。市内の交流が盛んになれば皆さんがいろんな発見をして、それがまた市外へ伝わっていくので、とても大事なことですね。


▲串原中学校
成瀬海斗君

●**樋田大知**　若い人だけでなく、高齢者も元気でまちに貢献することが必要だと思います。例えば、観光客のための休憩所を設置して地域の高齢者が地元の特産物を販売すれば、コミュニケーションも取れるし、高齢者の生きがいにもなると思います。

■**市長**　働き手が65歳以下じゃなければいけないということはないですから、元気に働いてもらうことでまちが活性化しますね。

●**大島蘭奈**　私が暮らしていてよくあるのが、「串原ってどこ」と聞かれることです。恵那に住んでいても、他の地域のことはよく知らなかったり行ったことがなかったりします。市に住んでいる人が、行ったことのない場所にも積極的に行き、そこで交流をすればまちが元気になると思います。

▲串原中学校
大島蘭奈さん

■**市長**　市の中での交流も大事だと言ってくれました。

中学生がまちを元気に

●**大石真穂**　上矢作中学校では2年前から「上矢作プロジェクト100」という取り組みを行っています。文化財の写真を自分たちで撮ってカレンダーを作ったり、地域の食材を使った商品開発をしたりして、地域の魅力を発信しています。

●**遠山幸希**　岩邑中学校では「温故知新」という学習時間で岩村町のことを勉強しています。自分たちで宣伝動画を制作し、岩村町の各所で皆さんが見られるよう情報発信しています。

■**市長**　中学生の皆さんがまちの宣伝に積極的に参加する素晴らしい取り組みですね。

▲岩邑中学校
遠山幸希君

働く場と産業の充実

●**平井萌々夏**　元気なのは若者や子どもが多く住むまちだと思いますが、それには働く場所が不可欠です。さらに仕事だけでなく、地域と関わる時間も確保できるような労働環境も大切だと思います。

■**市長**　仕事も近所付き合いも大事ということですね。皆さんは、将来どんな仕事に就きたいですか。

●**西尾知夏**　人の顔を見て、

▲山岡中学校
西尾知夏さん

▲明智中学校
田中萌絵さん

▲恵那西中学校
山本純奈さん

コミュニケーションを取りながら働ける場所で仕事をしたいと考えています。

●**山本純奈**　有名な企業を恵那に呼ぶのもいいけど、恵那にある、恵那ならではの企業を大切にして、その企業が外へ進出していくことも大切だと思います。

■**市長**　恵那の企業がどんどん大きくなって、そこで働ければ一番いいということですね。

●**田中萌絵**　若い人が市外に出て行ってしまうのを防がないといけないです。働く場が少ないとか交通の便が悪いと都会に出て行ってしまうので、産業の充実が活性化のために必要だと感じます。

若者が住み続けるまち

●**伊藤慎介**　僕たちぐらいの世代がずっと恵那に残って、この先の市をつくることが大切だと思います。でも、恵那は交通網などが発達していないので、もっと整備されれば便利になるかなと思います。

■**市長**　高校へ通うにも、例えば明知鉄道を利用すると、電車賃が高いとか本数が少ないといった課題があります。若い人たちが恵那にいてもらうために、考えていかなくてはいけないですね。

▲可知義明市長

●**伊藤佑華**　やはり若い人が多く住んでいると元気なまちだと思います。都会の人で、農業がやりたくても農地が無くてできない人がいると聞きました。恵那の農地を貸したり、空いた土地を売ったりして農業をやりたい若い人を呼び込めば、多くの人が住んでくれると思います。

■**市長**　恵那にたくさんある農地を有効利用するために、市外から来る人にも使ってもらうべきという意見ですね。

●**大橋竜也**　もっと人口を増やすといいなと思います。それにはもっと多くの住宅が必要です。移住する上で負担になるのは費用だと思うので、市が補助をしてくれれば、移住しやすくなると思います。

自分たちでつくるまち

●**平井萌々夏**　政治参加が大事だと考えます。市の行政がどう行われているかを知ることや、自分のまちを自分たちでつくっていくことで、地元への思い入れが強まります。私も今日この場に参加して、市への思い入れが強まった気がします。どんどん参加していくことが大切だと感じました。

■**市長**　自分たちのまちづくりに積極的に参加することが元気につながると、頼もしい意見を言ってくれました。

まとめ

■**大畑教育長**　これから皆さんは、さまざまな道を歩むでしょう。ぜひ、これからも恵那を見守り、支えてほしいです。生まれ育ったこのまちを元気に盛り上げていくために、皆さんの若い力や知恵をどんどん生かしてもらえるとうれしいです。

▲大畑雅幸教育長

■**市長**　将来こういう市になるといいなという意見をたくさんいただきました。市民が恵那のことをもっと知ろうという話もありました。合併しても、まだ各地域のことで知らないことは多いと思います。今日の場でできた「輪」を持って、各地域の人が恵那を一つのものと考え、支えていってほしいと思います。今日は本当にありがとうございました。

▼各中学校の代表生徒と市長が活発に意見を交換

案内

「ふるさと」をテーマにした心のこもった作品にぜひ投票してください。

□**期間**　10月16日㈭～30日㈭
□**ところ**　市役所ロビー、教育委員会（岩村振興事務所）、恵那文化センター、各コミセン、市中央図書館、中山道広重美術館、中山道ひし屋資料館、岩村歴史資料館、勝川家
□**投票方法**　小学生の部と中高生の部、一般の部で、事前審査を通過した20首の中から、推薦する1首を投票用紙に記入し、投票する
□**発表・表彰**　12月13日㈯岩村コミセンで、部門別に得票数の多い上位5首を発表し、表彰します。
問　「下田歌子賞」実行委員会（文化スポーツ課内）☎4―2112（内線321）

下田歌子賞「短歌の部」一般投票を受け付け

ふるさとの先人、下田歌子を顕彰する下田歌子賞。ことしも短歌の部は、市民の皆さんに推薦作品を投票していただき入選作品を決定します。

合同乳幼児学級　親子で姿勢エクササイズ

各地域のコミセンで行っている乳幼児学級が、一堂に会して合同乳幼児学級を行います。足や背骨、首を意識しながら親子で楽しく運動し、体のゆがみを解消しましょう。

□**とき**　10月22日㈬午前10時～11時半（午前9時半から受け付け）
□**ところ**　まきがね公園体育館
□**対象**　各コミセンの乳幼児学級生や、未就園の子どもとその保護者
□**講師**　多々良恵子さん
□**料金**　無料
□**持ち物**　ヨガマットか大きめのバスタオル、タオルなど
問　生涯学習課☎43―2112（内線344）

第19回県文楽・能大会えな2014

市制10周年記念第19回県文楽・能大会えな2014を開催します。今回のテーマは「未来に受け継ごう、伝統の心と技」。日本の古典芸能の文楽や能は、県内でも数多く伝承されています。この大会は、地域の伝統芸能の保存と活用を通して地域の活性化につなげることを目的としています。

□**とき**　11月3日㈪午後0時20分（開場は午前11時半）
□**ところ**　恵那文化センター
□**出演団体**　大井文楽保存会、半原操人形浄瑠璃保存会、真桑文楽保存会、阿波木偶箱まわし保存会
□**料金**　無料
□**その他**　食事や特産品などの物販もあります。
問　第19回県文楽・能大会えな2014実行委員会（文化スポーツ課内）☎43-2112

▲大井文楽保存会が伝統の心と技を披露

地域懇談会を開催　～皆さんの意見や提案を市政に反映～

毎年、市民の皆さんの意見や提案を把握して市政に反映させるため、地域協議会の主催で地域懇談会を開催しています。

今回は、第2次総合計画と地域計画の策定について説明し、地域ごとの課題も、行政と一緒に考え取り組む機会とします。

各地域懇談会の日程と会場は、右の表の通りです。多くの方の参加をお待ちしています。

問　まちづくり推進課（内線635）

とき	地域名	ところ
10月23日㈭	上矢作町	上矢作コミセン
10月24日㈮	串原	サンホールくしはら
10月27日㈪	中野方町	中野方コミセン
11月5日㈬	飯地町	飯地コミセン
11月6日㈭	東野	東野コミセン
11月10日㈪	山岡町	山岡農村環境改善センター
11月14日㈮	武並町	武並コミセン
11月18日㈫	明智町	明智文化センター
11月21日㈮	三郷町	三郷コミセン
11月26日㈬	大井町	市消防防災センター
11月27日㈭	長島町	市市民会館
11月28日㈮	笠置町	笠置コミセン
12月2日㈫	岩村町	岩村コミセン

※開催時間は、各地域とも午後7時～9時

◀地域の意見を聞く

問：問い合わせ　申：申し込み　※コミセン＝コミュニティセンターの略

家屋調査を実施

市では、1月2日から平成27年1月1日までに、新築や増築した家屋の評価額調査を行っています。

調査員は、必ず固定資産評価補助員証を携帯していますので、不審に思うときには提示を求めてください。

□**調査日時**　事前に連絡します。
□**調査内容**　家屋の構造や各部分の仕上げなどを確認し、所要時間は1時間程度です。
□**用意する物**　認め印と建築確認通知書など
□**その他**　家屋を取り壊した場合は、税務課か最寄りの振興事務所へ連絡ください。
問　税務課（内線512）

ひし屋資料館で抹茶の無料体験

市茶道連盟の協力で、抹茶の無料体験を開催します。当日は入館料が無料です。

□**とき**　10月25日㈯午前10時～午後3時（なくなり次第終了）
□**ところ**　中山道ひし屋資料館茶室
問　文化スポーツ課☎43―2112（内線321）

河川で楽しむ「りばーぴあ庄内川2014」

りばーぴあ庄内川実行委員会では、庄内川と土岐川流域の13の市・町・県・国が参加し河川と人との触れ合いを通じて、河川への理解や関心を深めるイベントを開催します。

ボートでの川下りや魚探しなど、楽しい企画をたくさん用意しています。

□**とき**　10月19日㈰午前9時～午後1時（雨天中止、小雨決行）
□**ところ**　みずとぴぁ庄内（愛知県清須市）
問　国土交通省庄内川河川事務所地域連携課☎052―964―6924

こころを守る講演会と自死遺族の集い

千の風の会世話人を講師に迎え、「大切な人を亡くして」と題した講演会と東濃地区自死遺族の集いを開催します。

□**とき**　10月12日㈰午後1時半～4時
□**ところ**　多治見市産業文化センター
□**料金**　無料
※申し込みは不要です。自死遺族の集いは家族を自死で亡くした方が対象です
問　県精神保健福祉センター☎058―273―1111（内線2252）

来年度の農作物被害防止対策に補助金を交付

市では、集落単位で設置する電気牧柵などへの補助制度を設けています。来年度の設置計画がありましたら、農林課にある要望書に記入の上、申し込んでください。

農作物の鳥獣被害が各地域で増加し、深刻な影響が出ています。また野生動物の保護の観点からも農作物の被害防止策を支援しています。

□**対象**　各地区の農家3戸以上で構成する農業集落
□**補助額**　取り組みに掛かる総資材費の3分の1以内。ただし人件費、テスター、危険表示板、ソーラーパネルなどは対象外です。
□**締め切り**　10月31日㈮
申・問　農林課（内線526）

歯科医療の現場に復帰しませんか

第23回歯科衛生士・歯科技工士再チャレンジスキルアップ研修会を開催します。

県歯科医師会では、資格を持っていながら、結婚や子育てなどで職場を離れている歯科衛生士と歯科技工士の方の復職を応援しています。あなたも眠っている資格を生かして、医療現場に復帰しませんか。

□**とき**　11月13日㈭正午～午後3時半
□**ところ**　県歯科医師会館（岐阜市）
□**内容**　講義と実習　▽歯科衛生士＝SRP・PMTCなど　▽歯科技工士＝有床義歯技工学、歯冠修復技工学など
□**料金**　無料
□**締め切り**　11月11日㈫
□**その他**　希望者には就職先の紹介も行っています。
申・問　公益社団法人県歯科医師会☎058―274―6116

秋季特別企画展

中山道広重美術館
10／2㈭～11／30㈰

「サカツ・コレクション 日本のポスター芸術
浮世絵、引札から始まった広告アート」

「『桜ビール』文字入りの和服を着て給仕する女性」
北野恒富

大衆に商品を宣伝する広告として作られた、明治期から昭和期のポスターに見る各時代の風俗と流行を紹介します。

10月5日㈰は、市民の日（市民に限り観覧料が無料です。当日、受付係に「恵那市民です」と伝えてください）
問　中山道広重美術館☎20-0522

中山道ぎふ17宿歩き旅2014

県では、県内の中山道沿線地域の連携強化と街道観光の促進を目的とした「中山道ぎふ17宿歩き旅2014」を開催しています。

大井宿でも「姫街道でつながる恵那の華ずし体験」や「人形浄瑠璃体験」などさまざまなプログラムを開催する予定です。

公式ガイドブックは、市役所ロビーや観光交流室、市観光物産館えなてらすで入手できます。ぜひ参加ください。

問 観光交流室(内線532)

▲公式ガイドブック

統合失調症家族教室

恵那保健所では、統合失調症の方を支える家族を対象とし、統合失調症家族教室を開催します。

疾患と障がい特性について理解を深め、家族の対応方法を学ぶことにより、当事者の治療中断を予防し、安心した在宅療養生活を目指します。

家族の方の参加をお待ちしています。

□**とき** 10月27日㈪午後2時～4時

□**ところ** 恵那総合庁舎南棟

□**対象** 市内か中津川市在住の統合失調症当事者を支える家族

□**内容** ❶講話 ▽演題＝「統合失調症の理解と家族の対応」 ▽講師＝曽根靖貴氏(大湫病院副院長) ❷座談会

□**料金** 無料

□**申し込み方法** 電話で申し込む

□**締め切り** 10月23日㈭

申・問 恵那保健所健康増進課℡26―1111(内線259)

吉岡幸雄氏の文化講演会

岩村町上町で、かつて染物業を営んでいた「吉岡屋」は、江戸時代の後期に京都の染物屋で修行。のれん分けしてもらった後、岩村に戻り染物業を始めたといわれています。

「吉岡」の屋号を現在も守り続けて染物をしている京都「染司よしおか」の5代目当主の吉岡幸雄氏を招いて文化講演会を開催します。

岩村と京都の二つの吉岡屋の縁を晩秋の岩村で感じてみませんか。

□**とき** 11月29日㈯午後1時半～4時

□**ところ** 岩村コミセン

□**定員** 250人

□**内容** ▽第1部＝ドキュメンタリー映画「紫」 ▽第2部＝文化講演会

□**その他** 恵那文化センターと岩村コミセンで入場整理券を配布します。

※1人500円の参加協力金をお願いします

問 岩村の歴史と文化と未来を語る型紙プロジェクト℡090―4798―0798

▲講師の吉岡幸雄氏

二つの臨時給付金の受け付けは11月4日まで

「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」の申請受け付けを行っています。

対象となる可能性のある方には、7月末に申請書を発送しています。まだ申請していない方は早めに手続きを済ませてください。

申請書を紛失した方は再発行しますので、問い合わせください。

▲厚生労働省給付金キャラクター「カクニンジャ」

申請方法と支給方法

□**締め切り** 11月4日㈫(郵送の場合は締め切り日の消印有効)

□**提出方法** 申請書に同封した返信用封筒での郵送が原則ですが、窓口でも受け付けます。

□**提出先** ▽郵送＝臨時福祉給付金等支給業務推進本部(市役所会議棟内) ▽窓口＝市役所会議棟(各振興事務所では受け取りのみ)

□**窓口での受付時間** 平日の午前8時半～午後5時15分

□**支給方法** 原則として、申請書で指定された金融機関口座へ振り込みます。申請の受け付けから給付金が振り込まれるまで、1カ月半程度かかる見込みです。

注意事項

❶申請書は支給対象となる可能性のある方に発送しています。申請後の審査で要件を満たさないことが判明し、不支給となる場合があります。

❷臨時福祉給付金の申請には申請書の他、対象となる可能性のある方(申請書に印字のある方)全員分の本人確認書類(運転免許証や健康保険証など)の写し、振込先口座の通帳またはキャッシュカードの写しが必要です。

問 臨時福祉給付金等支給業務推進本部(内線229)

問：問い合わせ　申：申し込み　※コミセン＝コミュニティセンターの略

募集

市の職員

来年4月1日採用予定の市職員を募集します。

□**職種と人数** ▽一般事務職(大学卒)＝若干名(30歳まで) ▽一般事務職(身体障がい者枠)＝若干名(30歳まで) ▽保育士・幼稚園教諭＝若干名(45歳まで) ▽看護師＝若干名(55歳まで)

※年齢は平成26年4月2日現在

▲子どもの成長を支える保育士

□**一次試験** ▽とき＝11月1日㈯ ▽ところ＝岩村振興事務所

□**申し込み方法** 市役所に備え付けの「職員採用試験申込書」に❶住民票❷卒業(見込み)証明書❸成績証明書❹資格・免許証の写し❺写真❻エントリーシート―を添えて、郵送か持参して申し込む

※申請書類は、市のウェブサイト(http://www.city.ena.lg.jp)からも取得できます

□**締め切り** 10月17日㈮午後5時15分(必着)

申・問 〒509―7292(住所不要)総務課職員係(内線306)

施設管理公社の職員

□**職種(人数)** ❶嘱託職員＝都市公園管理業務(1人) ❷嘱託職員＝えな斎苑管理業務(1人)

□**給与** 公社規程による

□**対象** ❶普通自動車運転免許取得者❷不問

□**採用予定日** ❶11月26日㈬ ❷平成27年1月26日㈪(事前の2カ月間は仮採用)

※雇用期間は、65歳の誕生月まで

□**申し込み方法** ハローワークの紹介状と履歴書を持参し、直接申し込む

□**受付期間** 10月1日㈬～31日㈮(必着)

申・問 施設管理公社℡25―8213

地域文化の振興に助成を希望する団体

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団では、長年、地域文化の振興に寄与してきた団体、特に地域の音楽や美術、演劇、伝統芸能の各分野で努力している団体へ助成しています。助成を希望する方を募集しています。

□**部門** 音楽部門、美術展部門、演劇部門、伝統芸能部門

□**対象** 平成27年4月～平成28年3月までに公演や展覧会を開催する団体

※音楽と演劇、伝統芸能は、アマチュアの団体が対象。過去に当財団の助成を受けた団体は、5年以上経過していること

□**申し込み方法** 応募書類を郵送する

□**締め切り** 11月30日㈰(当日消印有効)

□**その他** 募集要項と応募書類は、ウェブサイト(http://www.mut-tikibunkazaidan.or.jp)から取得できます。

申・問 〒103―0027 東京都中央区日本橋2―2―4日本橋ビル公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団℡03―3272―6993

問 文化スポーツ課℡43―2112(内線321)

動物追い払い花火の事故に注意

動物追い払い花火(連続発射式のもの)の使用中に、持ち手付近が破裂し、指を欠損する事故などが多発しています。この追い払い花火は、発音薬と呼ばれる火薬を連続で上空に飛ばし、大きな爆発音で動物を追い払う製品です。野生鳥獣による農作物への被害対策に使用されるケースが多いですが、外国からの輸入品が多く、火薬が暴発する危険があります。このような製品を使用するときは、直接手に持たず、くいなどに固定して使用してください。

問 予防課℡26-0119(内線261)

◀打ち上げ式動物追い払い花火による事故多発を受け、経済産業省が注意を呼び掛ける

国税の問い合わせ
「電話相談センター」の利用案内

□**利用方法** 中津川税務署℡0573-66-1202へ電話を掛けてください。自動音声案内により「1」を選択すると「電話相談センター」につながります。

□**受付時間** 午前8時半～午後5時(土日曜日、祝日、年末年始を除く)

ViVa!! JIVAフェスタ in ENA 2014

恵那産業博覧会

10月25日 ビバ地場フェスタを開催

市内の産業を皆さんに知ってもらおうと「聞いて、見て、知って伝えるものづくり～地場産業の魅力を内外へ発信～」をテーマに「ｖｉｖａ（ビバ）ＪＩＶＡ（地場）フェスタｉｎＥＮＡ２０１４」を開催します。

□**とき** 10月25日㈯ 午前9時半～午後4時
□**ところ** まきがね公園体育館とその周辺
問 恵那産業博覧会実行委員会（恵那商工会議所内）☎26―1211

恵那の匠

布団や型紙、和菓子、布ぞうり、建具製作、ロクロ工芸の各分野で伝統技術を伝承する職人の匠の技を体感できます。

体験イベント

巨大ダンボール迷路

地場産業のダンボールを使用した巨大迷路。子どもから大人まで楽しめます。

□**時間** 午前10時～午後4時
□**料金** 無料

▲ことしの目玉、巨大段ボール迷路

恵那商工会議所部会体験イベント

業種別に九つの部会が趣向を凝らしたイベントを開催します。

恵那の産業・物産が大集合

49の展示ブースや19の物産販売、ことしのみじのみり祭まんぷく番付入賞者の出店（展）があります。

学生イベント

ケーキデザインコンテスト

中学生から募集したケーキのデザインから入賞者を表彰します。

ジュニアエコノミーカレッジ

小学生が商売の体験をするイベント。過去最大の14チーム64人が参加し、食べ物や雑貨を販売します。

▲小学生が商売を体験

高校生の研究発表と体験イベント

高校生が授業で学んだ研究の成果を発表します。

中京学院大学のサークル活動披露

大学生が空手道の演舞や踊りを披露します。

声

市からの資料の印刷濃度を薄くして

最近、市から出される各種の資料がカラー刷りで出されるようになりました。それらを地域での会議資料として印刷すると、真っ黒になって見えづらいことがあります。

地域でコピー利用すると思われる印刷物については、カラー部分を薄い色で作成してはどうでしょうか。特に、赤や青の濃い色が黒くなります。コピー利用が多い印刷物は計画書、報告書、アンケート結果などです。

（柘植さん・飯地町）

答 各種の資料について、コピーが想定される場合は、白黒で印刷したり、薄い色を使ったりするなどして、コピーしたときの見やすさを考慮していきたいと思います。

（総合政策課）

ごみ袋のばら売りをして

燃えないごみ袋をばら売りしてほしいです。転勤族などはそんなに多い枚数は要りません。

（上原さん・長島町）

答 現在、可燃ごみ袋や不燃ごみ袋のばら売りは行っていませんが、今後ごみ袋について再検討する際に、販売店の意見も聞きながら検討していきます。

（環境課）

▲不燃ごみ袋

問：問い合わせ　申：申し込み　※コミセン＝コミュニティセンターの略

みんなの掲示板

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。（営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません）

□**掲載の申し込み・問い合わせ**　総合政策課広報広聴係☎26-2111（内線319）

第18回言志祭 佐藤一斎まつり

郷土の先人佐藤一斎の顕彰と今に生きる教えを学ぶ「言志祭」を開催します。

顕彰祭

□**とき** 10月25日㈯午前10時～11時
□**ところ** 岩村歴史資料館前（雨天時は岩村コミセン）
□**料金** 無料

記念講演会

□**とき** 10月25日㈯午後1時半～3時
□**ところ** 岩村コミセン
□**料金** 無料
□**演題** 「佐藤一斎が問い掛けるもの～志を言うことの意義～」
□**講師** 吉田公平氏（東洋大学名誉教授）

記念特別展

□**期間** 11月24日㈪まで
□**ところ** 岩村歴史資料館
□**内容** 佐藤一斎著「言志四録」や「愛日楼文詩」、「八曲屏風」などの展示
□**料金** 300円

共通

問 佐藤一斎顕彰会（鈴木）☎090―8135―2421

恵那山麓博覧会「えなか」2014開催

本市と中津川市が舞台のイベント「恵那山麓博覧会えなか2014」を開催します。地域の食べ物を楽しんだり、歴史や文化などを体験したりできる43のプログラム（小規模の体験交流型イベント）があります。プログラムの詳細は、ウェブサイト（http://www.enaka-gifu.com/）やガイドブック（市役所ロビー、えなてらすなどに設置）で確認の上、申し込みください。

□**期間** 10月11日㈯～11月16日㈰
□**ところ** 恵那山麓エリア（本市と中津川市）
問 えなか事務局（NPO法人えなここ内）☎22―9211

自転車ツアーガイド養成講座

▲地域を巡るツアーガイド

自転車を活用してこの地域の自然や観光資源を案内する、自転車ツアーガイドの養成講座を開催します。

□**とき** 10月18日㈯午前11時～午後5時、19日㈰午前9時～午後3時（全2回）
□**ところ** 保古の湖自然館
□**定員** 10人（先着順）
□**料金** 無料
□**講師** 丹羽隆志さん（にわサイクリングツアーズ主宰）
申・問 根の上高原観光保勝会（浮洲）☎0573―67―9903

山岡町レディースネットワーク講演会

山岡町内の12の女性活動グループで構成するレディースネットワークは、学びと交流を深めることを目的に学習会や講演会を開催しています。今回は「食」をテーマに講演会を開催します。

□**とき** 10月19日㈰午後1時
□**ところ** 山岡農村環境改善センター
□**演題** 「健康で楽しく生きるために」
□**講師** 五十嵐桂葉氏（鈴鹿医療大学非常勤講師、NPO法人LETS食の絆顧問、愛知県栄養士会参与）
問 山岡振興事務所☎56―2111

はじめてのパソコン講座受講生を募集

□**とき** 11月11日㈫、13日㈭、18日㈫、20日㈭午前9時半～11時半（全4回）
□**ところ** 恵那文化センター
□**内容** ウィンドウズ7か8、8・1を使い、文字入力やマウスとキーボードの使い方、インターネットの見方など、パソコンの基本操作を学びます。
□**料金** 700円（別途テキスト代1300円程度が必要）
□**定員** 18人（先着順）
□**申し込み期間** 10月11日㈯午前10時から開講日前日まで
□**その他** テキストはバージョンに合わせて準備しますので、バージョンを知らせてください。
※初めて受講する方は、10月27日㈪までに申し込めば優先されます
申・問 パソコンサポートクラブ☎090―4265―9727

情報BOX えな

人とまち 恵那の今をお届けします

各地域で市を挙げての防災訓練

NEWS& 8月31日 TOPICS

市を挙げての防災訓練が市内の各所で行われました。明智町の住民ら約400人が参加。明智小学校では、明智町の住民ら約400人が参加。防災サイレンが鳴ると、家族や近所の人と連れ合って、避難の訓練をしました。会場では、炊き出しや消火器訓練、応急手当、簡易担架の体験などのコーナーが設けられ、参加者は各コーナーを順番に回りました。

長島町で防災隊を結成

NEWS& 8月18日 TOPICS

中コミセンで長島町自主防災組織の発足と長島防災隊の発隊式が行われました。自主防災組織は、主に災害時に初期的対応を担う活動型の組織。防災隊は、消防団員を退団したOBを中心に組織し、災害時には地域の指導的な役割を担います。

少年の主張で県知事賞

NEWS& 8月7日 TOPICS

山県市で第36回少年の主張岐阜県大会が行われ、恵那西中学校3年の西尾ひよりさんが最高の県知事賞を受賞しました。西尾さんは舞台で「いじめ」をテーマにした主張を繰り広げ、いじめで苦しんでいる人たちの力になりたい気持ちを熱く語りました。

地域に根付く昆虫食を講演

NEWS& 8月30日 TOPICS

市中央図書館で「ヘボ文化と昆虫食」と題した講演会が開催され、約60人が聴講しました。講師は、串原で日本の昆虫食の研究をしているシャーロット・ペインさんと上矢作町の加地浩さん。ヘボ（クロスズメバチ）の習性や昆虫食の状況などについて紹介しました。

岩村を題材の新作能を披露

NEWS& 8月23日 TOPICS

いわむら城址薪能が恵那特別支援学校体育館で開催されました。舞台では、舞囃子の「枕慈童」や狂言の「萩大名」を上演。3作目には、地元を題材に作られた新作能の「覇王」が披露されました。来場した約500人の観客は、独特な能の雰囲気を楽しんでいました。

園児たちが絵本に集中

NEWS& 9月3日 TOPICS

吉田保育園で、地域の「読み聞かせの会」の3人による本の読み聞かせが行われました。3から5歳児の園児は、それぞれの部屋で年齢に合った本を読んでもらいました。園児たちは床に座って絵本に集中。どんどん話の中に引き込まれていきました。

お誕生日おめでとう！

1歳になりました HAPPY BIRTHDAY わが家のBABY 10月生まれ

1歳おめでとう！たくさん食べて元気に育ってね
三郷町
小野 愛果ちゃん
父 進太郎さん 母 千恵実さん

1歳おめでとう♡たくさん食べて大きくなってね☆
武並町
伊藤 悠真くん
父 晋也さん 母 美和さん

1歳おめでとう！元気に大きくなぁれ!!
大井町
仁平 実紗季ちゃん
父 利典さん 母 知子さん

Happy Birthday♡ちぇらだーいすき！！！
大井町
大野 碧来くん
父 佳仁さん 母 舞世さん

たくさん食べて大きくなあれ！
大井町
木藤 蒼一郎くん
父 豪さん 母 美絵さん

諒くんおめでとう！1歳もいっぱい楽しもうね！
武並町
工藤 諒成くん
父 務さん 母 美紀さん

奏ちゃんのかわいい笑顔は癒やし♡優しい女の子になってね♡
大井町
伊藤 奏穂ちゃん
父 陽太さん 母 公子さん

かわいいかわいい椛蓮ちゃん♡いっぱい笑って元気に育ってね
山岡町
西尾 椛蓮ちゃん
父 千秋さん 母 裕子さん

生まれてきてくれてありがとう。元気に育ってね♡
岩村町
西尾 優七ちゃん
父 涼平さん 母 彩さん

生まれてきてくれてありがとう 毎日幸せ♡一緒に人生楽しもう
大井町
林 路花ちゃん
父 和也さん 母 礼子さん

募集中

11月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真（なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの）の裏に❶住所❷氏名（ふりがな）❸生年月日❹性別❺電話番号❻両親の氏名❼28字以内のコメント❽ケーブルテレビ放映の可否ーを添えて、10月15日㈬までに申し込んでください。

申し込み多数の場合は先着順で掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
総合政策課広報広聴係
℡26-2111（内線319）

※コミセン＝コミュニティセンターの略

小学生が催しを通して交流

NEWS& 9月6日 TOPICS

大井町青少年育成町民会議が主催する「大井町ふれあい広場」が、阿木川公園で開催されました。この日は、約 150 人の小学生らが参加。大道芸や紙芝居の上演、ヨーヨー釣り、マスつかみなどを楽しみながら、町内の小学生らの交流が図られました。

笠置でクライミングを満喫

NEWS& 9月5日 TOPICS

笠置コミセンと笠置山クライミングエリアで、クライミング体験イベントが開催されました。コミセンでは、設置された人工壁を使って小中学生らがクライミングに挑戦。クライミングエリアでは、初心者らが 23 種類の岩登りを楽しみました。

北中で交流した3校の6年生

NEWS& 9月10日 TOPICS

恵那北と中野方、飯地小学校の 6 年生が、恵那北中学校で交流を行いました。同中学校は、来年春から 3 校の多くの児童が通う学校です。児童たちは、初めに運動場で中学校の体育大会の総練習を見学。その後体育館で、学校紹介やゲーム、ドッジボールで交流を深めました。

串原で多彩な催しを楽しむ

NEWS& 9月7日 TOPICS

くしはら温泉ささゆりの湯の近くのグラウンドゴルフ場で、「やまびこミュージックフェスティバル」を開催。大道芸や紙芝居の読み聞かせ、バンド演奏、ベリーダンスなどが披露されました。来場者は音楽やパフォーマンスを見たり、ダンスに参加したりして楽しみました。

豊作を盛大に祝った抜き穂祭

NEWS& 9月20日 TOPICS

「恵奈の里次米(えなのさとすきまい)みのり祭抜き穂祭」が、長島町正家の田んぼで行われました。歌や演奏に合わせて 38 人の踊り手が約300平方㍍の田んぼの周りを踊る中、19 人の男若衆が黄金色に実った稲を刈っていきました。祭りの最後には、100 臼の餅投げで豊作を祝いました。

親子でパン作りに挑戦

NEWS& 9月18日 TOPICS

飯地保育園で「親子パン作り」が行われ、10 人の園児とその保護者がパン作りを楽しみました。この日は、チーズスティックパンとベルギーワッフルの 2 種類のパン作りに挑戦。園児たちは、真剣に作業をしながらも「手で生地をのばすのが楽しい」などと話していました。

※コミセン＝コミュニティセンターの略

学ぼう伝えよう

輝く恵那人 120

日の丸を背負い世界へ

200㍍バタフライで国際大会に出場

□プロフィール
200㍍バタフライが得意種目。平成 23 年、24 年、 25 年の国体で入賞。ことしの全国ジュニアオリンピックでは 4 位に入賞。

恵那で輝いている旬な人を紹介します

長島町中野
吉村(よしむら) 莉奈(りな) さん　18歳

「水泳が自分の存在意義」と話すのは、高校3年生の吉村莉奈さん。8月に中国で行われた第2回ユースオリンピック競技大会で、200㍍バタフライの代表選手に選ばれ、世界の舞台に初挑戦してきた。

吉村さんが水泳を始めたのは5歳の時。最初は嫌々習っていたが、少しずつ泳げるようになり、周りから褒めてもらえるのがうれしくて、気付けば水泳が大好きになっていた。

小学校や中学校には水泳部がなかったため、市内のスポーツクラブで週6日の練習を中学卒業まで続けた。その後多治見西高校に進学し、初めて水泳部に所属した。そこでは、今までよりもさらに厳しい環境が待っていた。先輩後輩の上下関係や礼儀、あいさつ、声出し。自分よりレベルの高い先輩たちに囲まれた緊張感。「水泳に対する意識が、ますます真剣なものに変わった気がする」と言う。新しい環境に慣れるまでは大変だったが、厳しい分、仲間と切磋琢磨しながら水泳に打ち込めるようになった。

高校1年の冬、足首と腰を痛めてしまい、十分に練習ができなくなった。結果も出始め、もっと上を目指そうと意気込んでいた矢先の故障。「焦りと不安で、一番つらい時期だった」と振り返る。コーチや友人の支えで乗り越え、「あの時期があったから体のケアを気を付けるようになれた」と、自分の糧にしている。

8月のユースオリンピックや国体では、思うような結果は出せなかったものの、自分の殻を破る攻めの泳ぎができた。次のステージへ向けての課題もできた。「結果に落ち込むだけでなく、良かったところを見つけて、自分の収穫にできるようになったのが成長かな」と無邪気な笑顔を見せた。

夢は、もう一度日本代表選手に選ばれ、日の丸を背負って世界の舞台で泳ぐこと。彼女の挑戦は始まったばかりだ。

▲バタフライで力強い泳ぎを見せる
（写真提供：岐阜新聞社）

伝えたい、守りたい、まちの宝物

先人の宝

【File No. 17 富田ハナノキ自生地 とみだはなのきじせいち（岩村町富田1541-21）】

紅葉する富田地区のハナノキ

「市の木」としても知られるハナノキ。氷河期までは世界中に広く分布していたといわれているが、現在では日本の固有種であり、東濃地方と愛知県、長野県の一部でしか自生していない。ヒトツバタゴやシデコブシとともに、東濃地方の珍しい木とされている。カエデ科カエデ属に分類されるカエデの仲間である。当地では４月上旬ごろに開花し、濃い紫がかった紅色の花を咲かせる。これからの紅葉のシーズンを迎えると、葉が鮮やかに紅葉または黄葉し、とても美しい。

富田のハナノキ自生地には、幹周り 0.5 から 1.7㍍、高さ 11 から 18㍍のハナノキが３株自生しており、1922（大正 11）年10月12日に国の天然記念物として指定された。この指定は、岩村藩出身で、自然保護の先駆者であり世界的な植物学者の三好学博士の貢献によるものである。

ひとロメモ

ハナノキは、環境省では絶滅危惧Ⅱ類に選定されている。絶滅危惧Ⅱ類とは、絶滅の危険が増大している種を分類するもの。「市の木」を次の世代に残すために何ができるのか、ハナノキを眺めながら一度考えてみてはどうだろうか。

恵那写真館

私の大好きな１枚

（撮影地：恵那駅）

大井町　栗田有美（ゆみ）さん

小さな駅ですが、夜の柔らかい光に包まれた光景がとても好きで、思わず「ただいま」と言いたくなります。

恵那駅 夜景

□**応募方法**　写真か画像データと❶住所❷氏名（ふりがな）❸電話番号❹題名❺写真の場所（町名）❻お薦めの理由（70字以内）―を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は 10月15日号 発行日は 10月15日㈬です

広報えな No.229
2014 年（平成26年）
10月１日発行

発行　恵那市役所／編集　総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目１番地1
TEL(0573)26-2111／FAX25-6150／(IP電話)050-5808-9521
http://www.city.ena.lg.jp/　✉ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』10月１日号、１部当たりの印刷経費は約 11.2 円（税込み）です。

◀市ウェブサイト（閲覧用QRコード）
あなたの知りたい情報を分かりやすく提供しています。

◀市メール配信サービス（登録用QRコード）

音声告知放送の文字版ページ▶（閲覧用QRコード）

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。
VEGETABLE OIL INK